

令和元年度

自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に関する加入状況調査

報告書

令和2年5月

東京都都民安全推進本部総合推進部
交通安全課

目次

調査概要	1
------------	---

I. 自転車利用者に対する調査

▷ 居住地域	3
▷ 性別・年代	4
▷ 職業	4
▷ 自転車の所有台数	4
1. あなたはどのくらいの頻度で自転車を利用しますか。	5
2. あなたが普段利用している自転車をすべて教えてください。	6
3. あなたは主にどのような目的で自転車を利用していますか。	8
4. 最近3年間で、あなたが自転車に乗っている時、歩行者に接触や衝突した、 あるいは接触や衝突しそうになった経験がありますか。	10
5. 最近3年間で、あなたが歩道を歩いている時、自転車に接触や衝突された、 あるいは接触や衝突されそうになった経験がありますか。	11
6. あなたは自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に加入することについてどう思いますか。	12
7. あなたは東京都自転車条例が改正され、令和2年4月から、自転車利用中の 対人賠償事故に備える保険等への加入が義務付けられることを知っていますか。	13
8. あなたは東京都自転車条例が改正されることや、 保険等への加入が義務付けられることをどこで知りましたか。	14
9. あなたは自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に加入していますか？	16
10. あなたが加入している自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等の種類を教えてください。	17
11. あなたが自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に加入したきっかけは何ですか。	19
12. あなたが自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に加入していない理由を教えてください。	21
13. あなたは自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等への加入を検討していますか。	23
14. あなたは自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等への 加入率の向上に必要なことは何だと思えますか。	25
15. あなたは自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等の情報をどこから得ていますか。	27
16. あなたは自転車の点検整備をしていますか。	29
17. あなたは自転車事故を減らすために何が必要だと思えますか。	30
18. 都内の自転車の安全で適正な利用について、あなたの意見を自由にお書きください。	32

調査目的 東京都では、東京都内における自転車乗用中の安全利用を一層推進するため、東京都自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例（以下「東京都自転車条例」という。）を改正し、令和2年4月1日から自転車利用者や自転車使用事業者、自転車貸付事業者などに対して自転車損害賠償保険等への加入を義務付ける。そこで、改正東京都自転車条例施行の前段階での東京都内の自転車利用者及び事業者の自転車損害賠償保険等への加入率等を把握するため、加入状況調査を実施した。

調査対象	都内在住の20歳以上の自転車利用者
調査実施期間	令和2年 3月19日(木)～ 3月24日(火)
調査方法	インターネットモニターを対象とした Webアンケート調査
有効回答数	1,000件

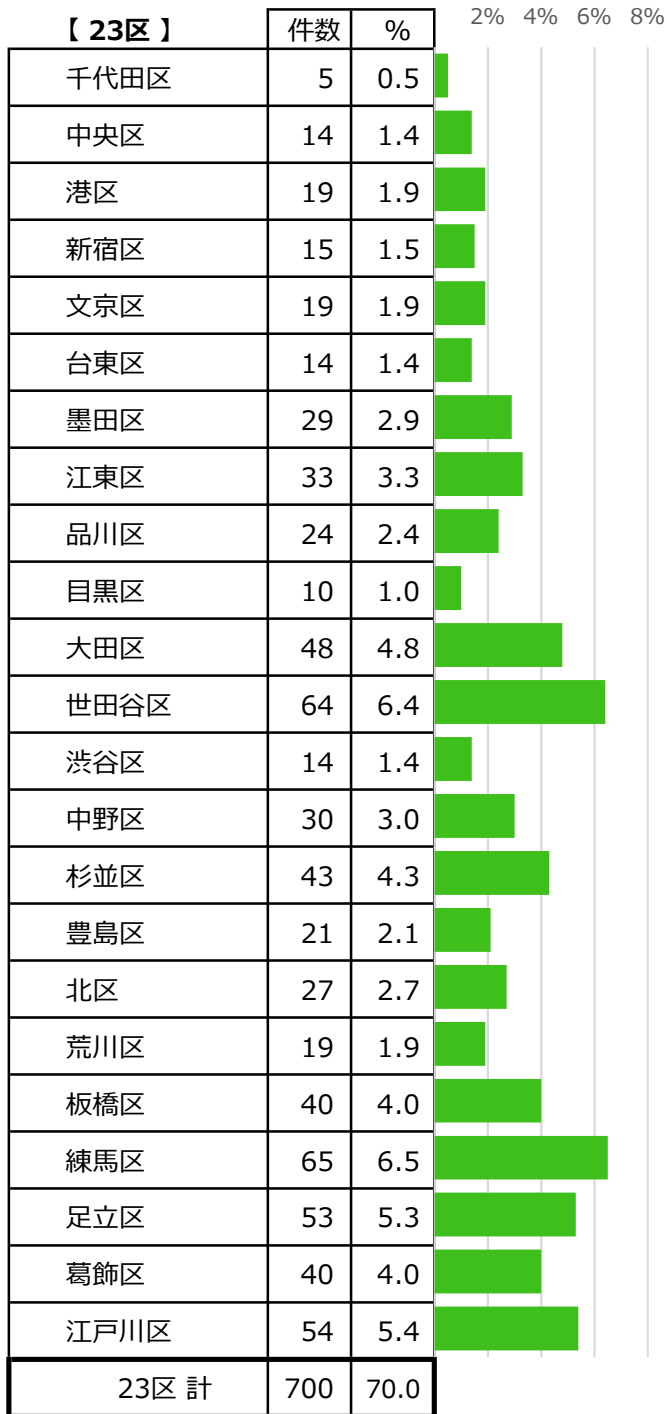
－ 調査結果の見方 －

- ①基数となるべき実数（分母）は「n」として表記し、各回答率（％）は「n」を100％として算出している。
- ②回答率（％）は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100％にならない場合がある。
グラフ中の「0.0」は回答の比率が0.1未満であることを表し、「-」の場合は回答が皆無であることを表している。
- ③2つ以上の選択肢を選ぶことのできる設問（複数回答）の場合、回答率（％）の合計が100％を超えることがある。
- ④回答者を限定する設問では、該当選択肢の回答者数を基数（＝n）として算出している。

自転車利用者に対する調査

▶ 居住地域

n=1,000



※「23区計」と「市町村計」の比率は、東京都の地域別人口を参考に割付を行っている。

自転車利用者に対する調査







▶ 性別・年代

	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	合計
男性	80	100	110	90	70	50	500
女性	80	100	110	90	70	50	500
合計	160	200	220	180	140	100	1,000

※年代は、東京都の年代別人口を参考に割付を行っている。








▶ 職業

n=1,000

	件数	%	
会社員・公務員・団体職員 (役員等を含む)	428	42.8	
パート・アルバイト・契約・嘱託・ 派遣等	188	18.8	
自営業・自由業	68	6.8	
専業主婦 (専業主夫)	159	15.9	
学生	26	2.6	
無職 (年金生活者を含む)	131	13.1	
その他	0	-	

▶ 自転車の所有台数

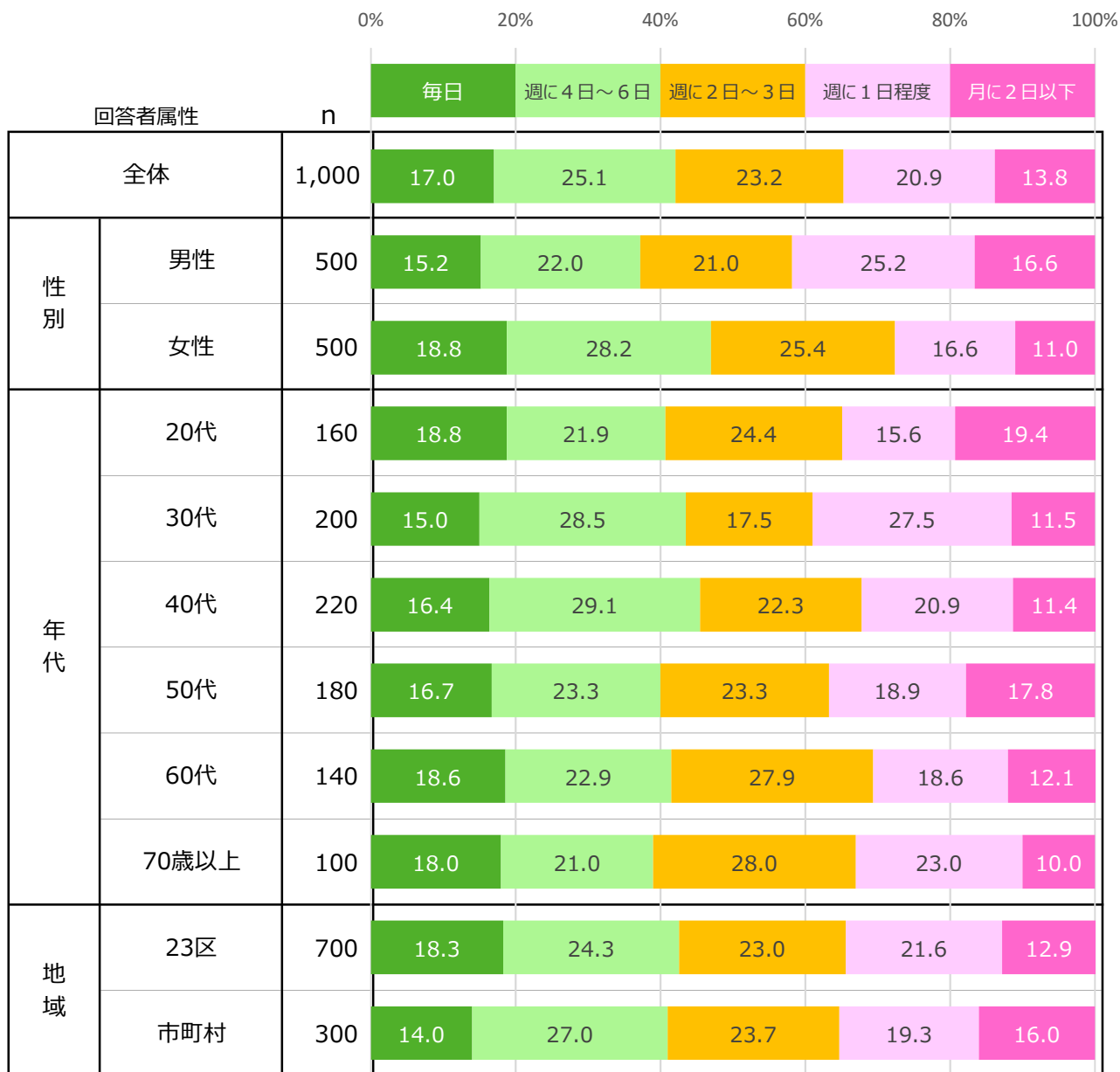
n=1,000

	件数	%	
0 台	130	13.0	
1 台	488	48.8	
2 台	208	20.8	
3 台	114	11.4	
4 台	44	4.4	
5 台	12	1.2	
6 台	4	0.4	

自転車利用者に対する調査

1. あなたはどのくらいの頻度で自転車を利用しますか。

自転車利用の頻度については、「毎日」「週に4日～6日」でほぼ毎日自転車を利用している人は42.1%であった。男性では37.2%、女性では47.0%と女性のほうが高く、年代別にみると40代が45.5%で最も高い。

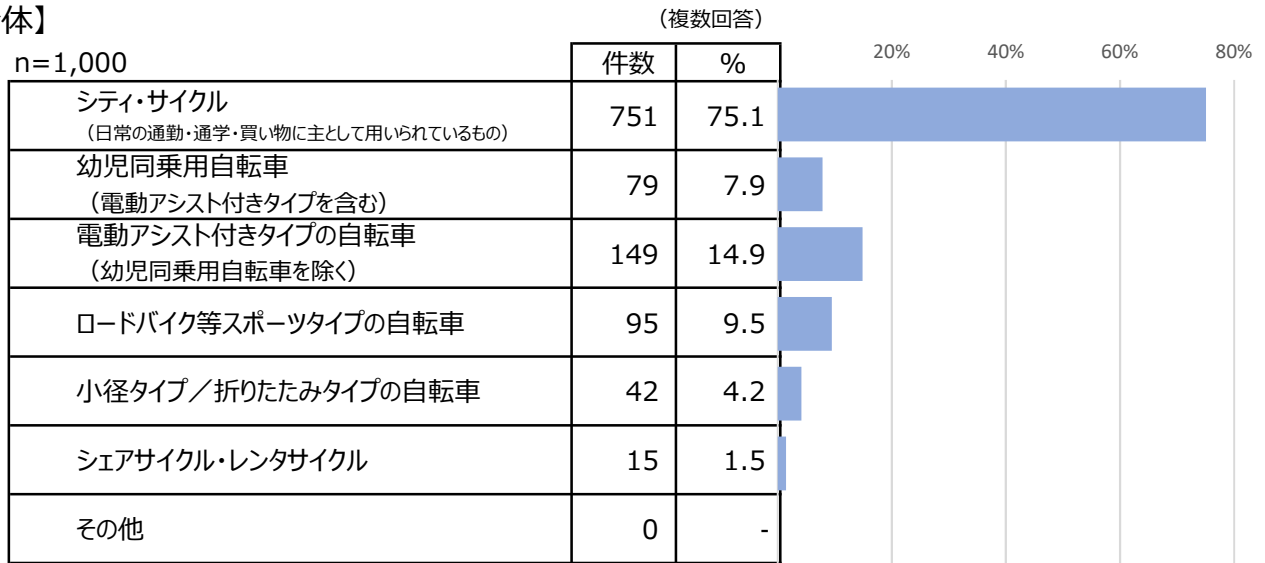


自転車利用者に対する調査

2. あなたが普段利用している自転車をすべて教えてください。(複数回答)

普段利用している自転車については、「シティ・サイクル」が75.1%と最も高く、次いで「電動アシスト付きタイプの自転車」が14.9%、「ロードバイク等スポーツタイプの自転車」が9.5%と続く。

【全体】



自転車利用者に対する調査

2. あなたが普段利用している自転車をすべて教えてください。(複数回答)

普段利用している自転車について年代別にみると、「シティ・サイクル」では20代(84.4%)と60代(82.9%)で8割以上の方が利用していると回答。

「幼児同乗用自転車」では30代が19.0%と最も高い。「電動アシスト付きタイプの自転車」では40代が19.5%で全体より4.6ポイント、70歳以上が23.0%で全体より8.1ポイント高くなっている。

【属性別】

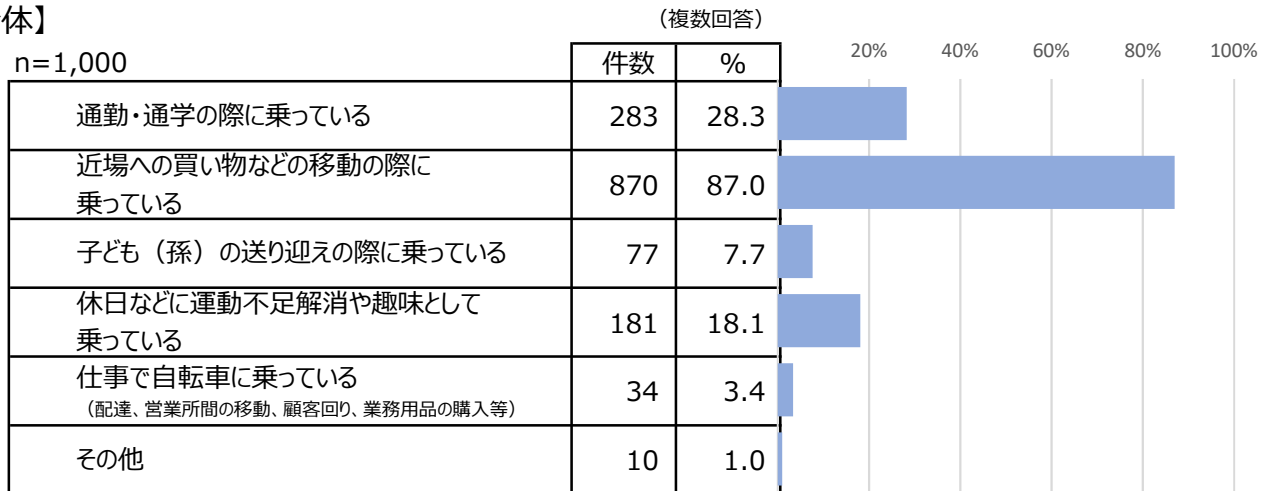
回答者属性	全体	性別		年代						地域	
		男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	23区	市町村
n	1,000	500	500	160	200	220	180	140	100	700	300
シティ・サイクル (日常の通勤・通学・買い物に主として用いられているもの)	75.1	76.6	73.6	84.4	67.0	68.6	76.7	82.9	77.0	76.4	72.0
幼児同乗用自転車 (電動アシスト付きタイプを含む)	7.9	5.0	10.8	8.1	19.0	9.1	2.2	0.7	3.0	7.3	9.3
電動アシスト付きタイプの自転車 (幼児同乗用自転車を除く)	14.9	13.0	16.8	8.1	13.5	19.5	13.9	12.9	23.0	14.3	16.3
ロードバイク等 スポーツタイプの自転車	9.5	17.0	2.0	10.0	10.5	10.9	7.8	8.6	8.0	9.4	9.7
小径タイプ/折りたたみタイプの 自転車	4.2	4.6	3.8	1.9	4.5	5.0	4.4	7.1	1.0	4.9	2.7
シェアサイクル・レンタサイクル	1.5	2.0	1.0	3.1	2.0	1.4	1.1	-	1.0	1.3	2.0
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

自転車利用者に対する調査

3. あなたは主にどのような目的で自転車を利用していますか。(複数回答)

自転車利用の主な目的については、「近場への買い物などの移動の際に乗っている」が最も高く、87.0%。次いで、「通勤・通学の際に乗っている」が28.3%、「休日などに運動不足解消や趣味として乗っている」が18.1%と続く。

【全体】



▷ 「その他」の内容

(10件)

通院	5
ジム通い	2
帰省	1
実母の老人向け施設へのお見舞い	1
ペットと出掛ける時に乗せて移動している	1

自転車利用者に対する調査

3. あなたは主にどのような目的で自転車を利用していますか。(複数回答)

自転車利用の主な目的について年代別にみると、「通勤・通学の際に乗っている」では20代が45.6%と全体より17.3ポイント高い。「子ども(孫)の送り迎えの際に乗っている」では30代(16.0%)と40代(12.7%)が全体より5.0ポイント以上高い。

また、「休日などに運動不足解消や趣味として乗っている」では男性が24.0%で、女性(12.2%)の約2倍。

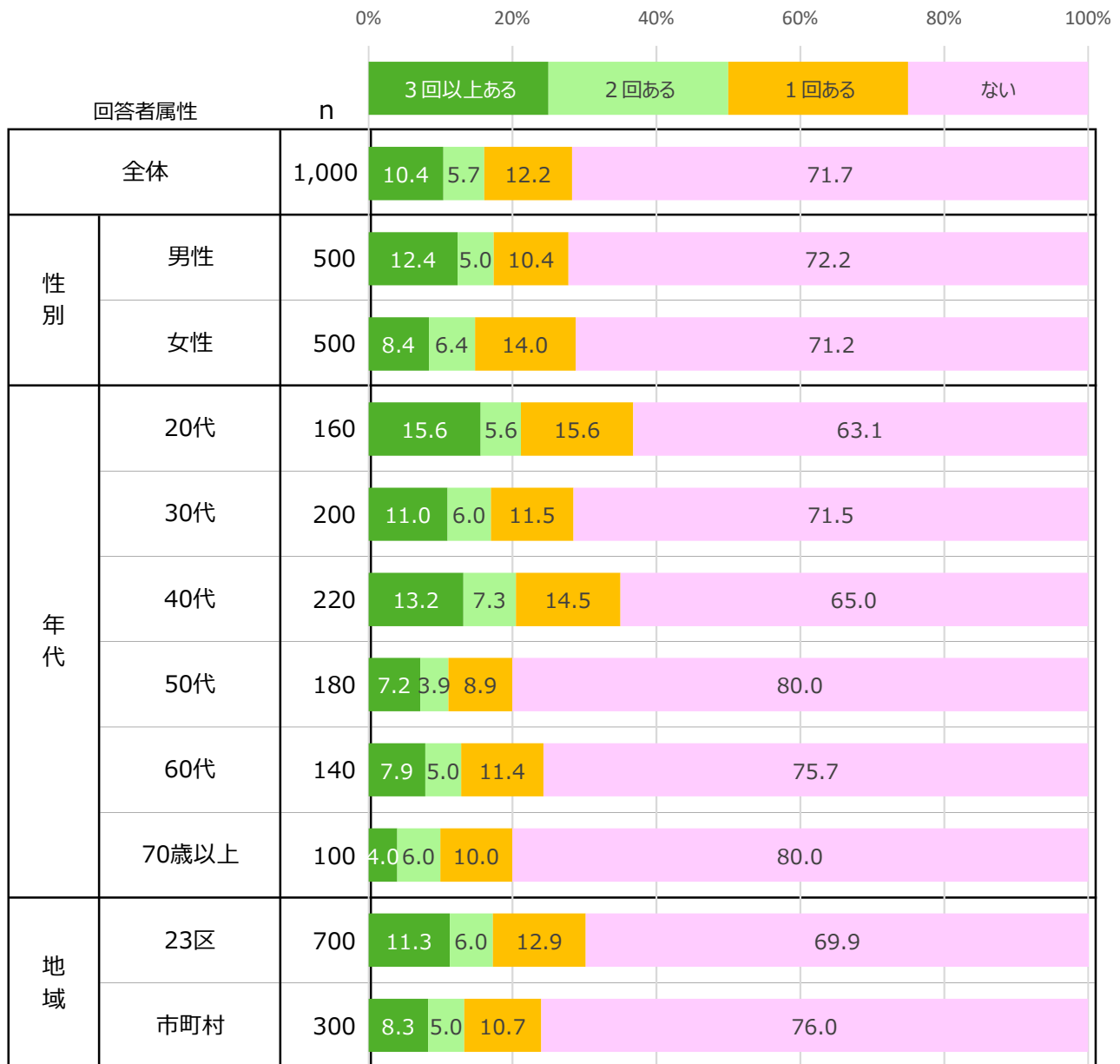
【属性別】

回答者属性	全体	性別		年代						地域	
		男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	23区	市町村
n	1,000	500	500	160	200	220	180	140	100	700	300
通勤・通学の際に乗っている	28.3	29.4	27.2	45.6	30.5	30.9	28.3	20.0	2.0	28.6	27.7
近場への買い物などの移動の際に乗っている	87.0	86.0	88.0	73.8	85.0	89.5	91.1	89.3	96.0	88.0	84.7
子ども(孫)の送り迎えの際に乗っている	7.7	4.8	10.6	6.9	16.0	12.7	1.7	2.1	-	7.6	8.0
休日などに運動不足解消や趣味として乗っている	18.1	24.0	12.2	18.1	21.0	16.8	13.9	18.6	22.0	17.9	18.7
仕事で自転車に乗っている (配達、営業所間の移動、顧客回り、業務用品の購入等)	3.4	4.4	2.4	3.8	4.5	1.8	3.9	4.3	2.0	3.3	3.7
その他	1.0	0.6	1.4	-	0.5	1.4	0.6	1.4	3.0	0.7	1.7

自転車利用者に対する調査

4. 最近3年間で、あなたが自転車に乗っている時、歩行者に接触や衝突した、あるいは接触や衝突しそうになった経験がありますか。

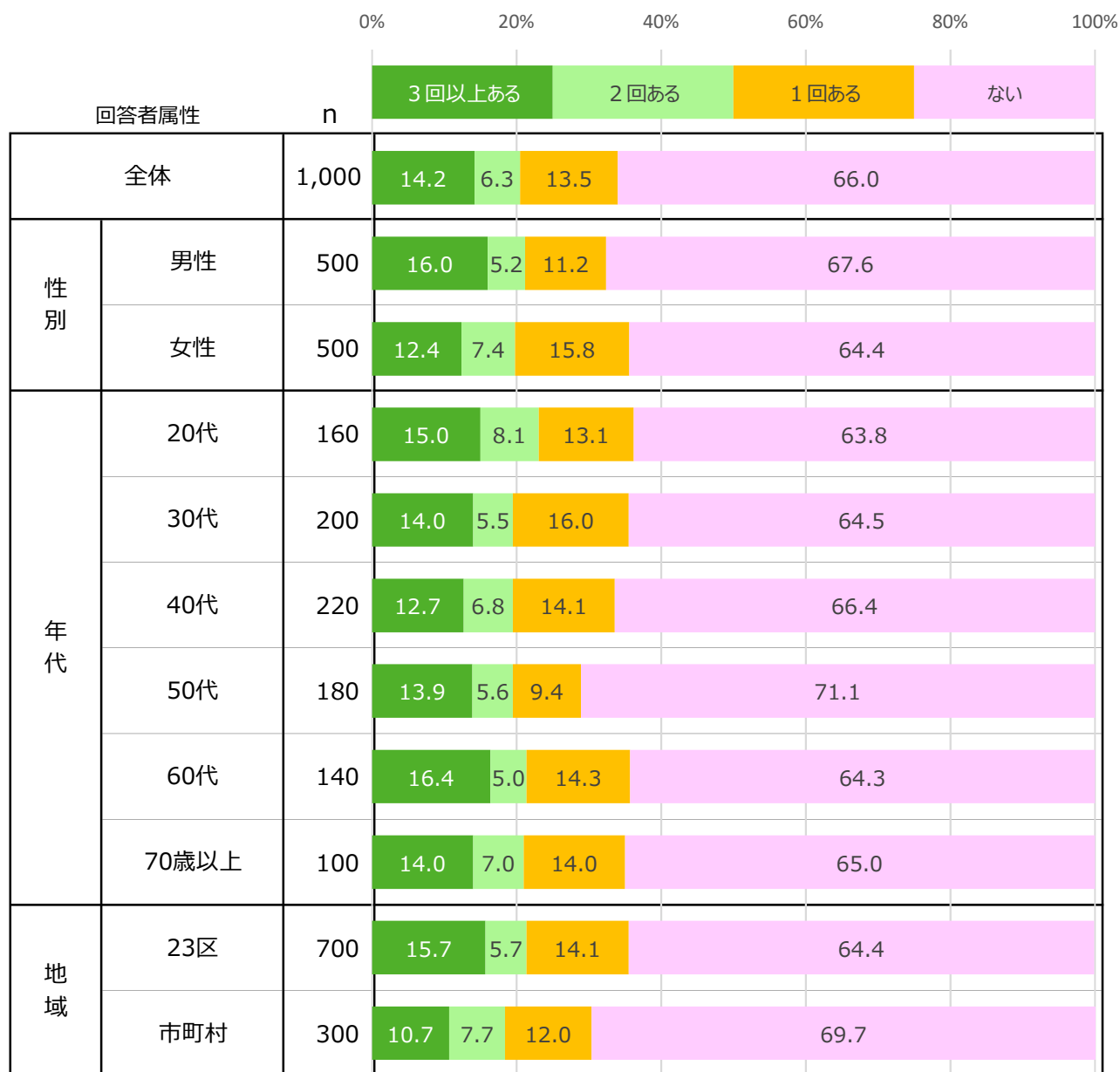
最近3年間で、歩行者に接触や衝突した、あるいは接触や衝突しそうになった経験について年代別にみると、「3回以上ある」では20代が15.6%と全体より5.2ポイント高い。
 「3回以上ある」「2回ある」「1回ある」を合わせると、20代が36.8%と最も高く、次いで40代が35.0%と続く。地域別では23区が30.2%、市町村が24.0%で23区のほうが6.2ポイント高い。



自転車利用者に対する調査

5. 最近3年間で、あなたが歩道を歩いている時、自転車に接触や衝突された、あるいは接触や衝突されそうになった経験がありますか。

最近3年間で、歩道を歩いている時、自転車に接触や衝突された、あるいは接触や衝突されそうになった経験について、「3回以上ある」「2回ある」「1回ある」を合わせると、50代を除く全ての年代が30.0%を上回った。地域別では23区が35.5%、市町村が30.4%で23区のほうが5.1ポイント高い。

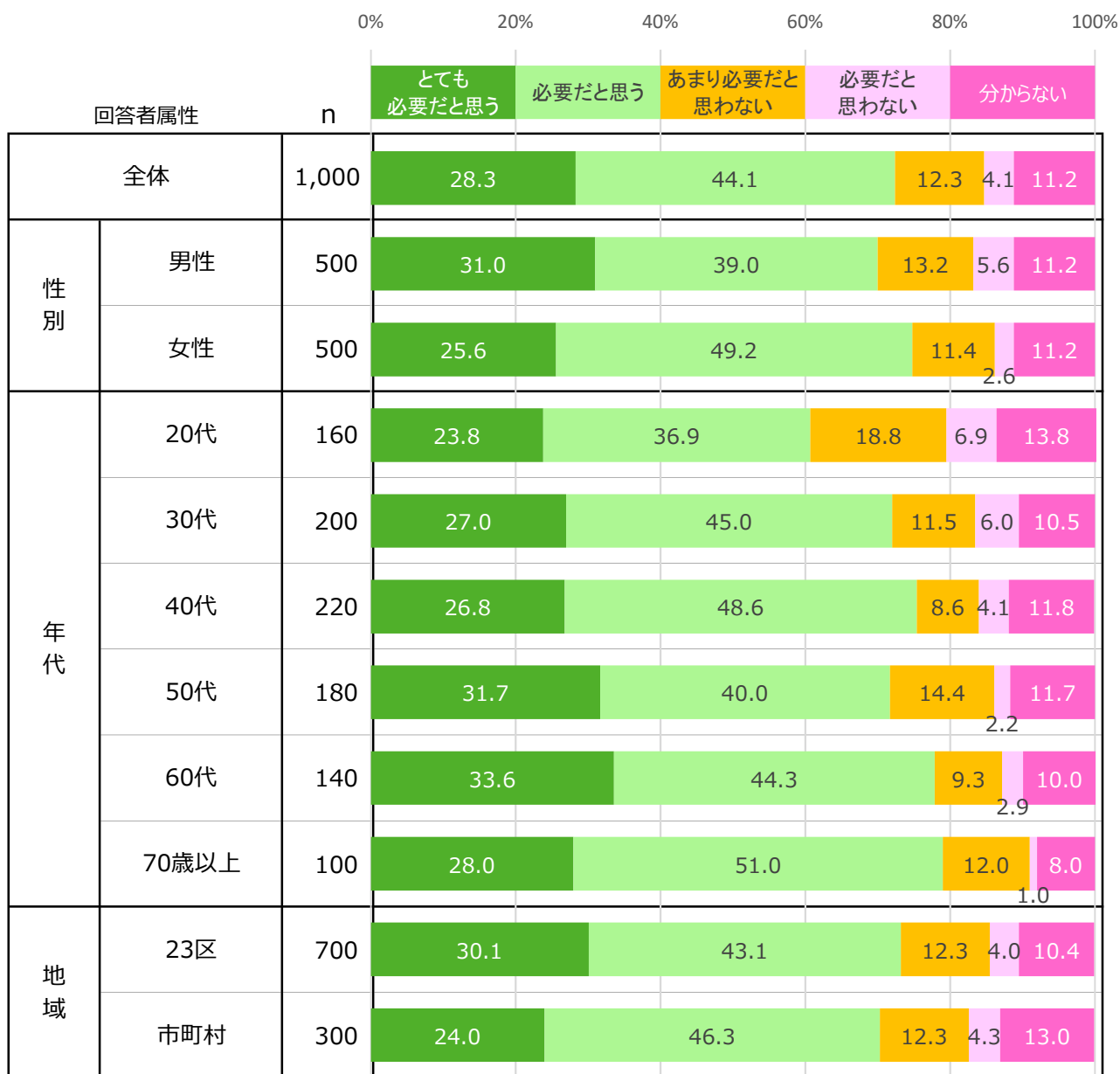


自転車利用者に対する調査

6. あなたは自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に参加することについてどう思いますか。

自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に参加することについて、「とても必要だと思う」では男性31.0%、女性25.6%と男性のほうが高い。

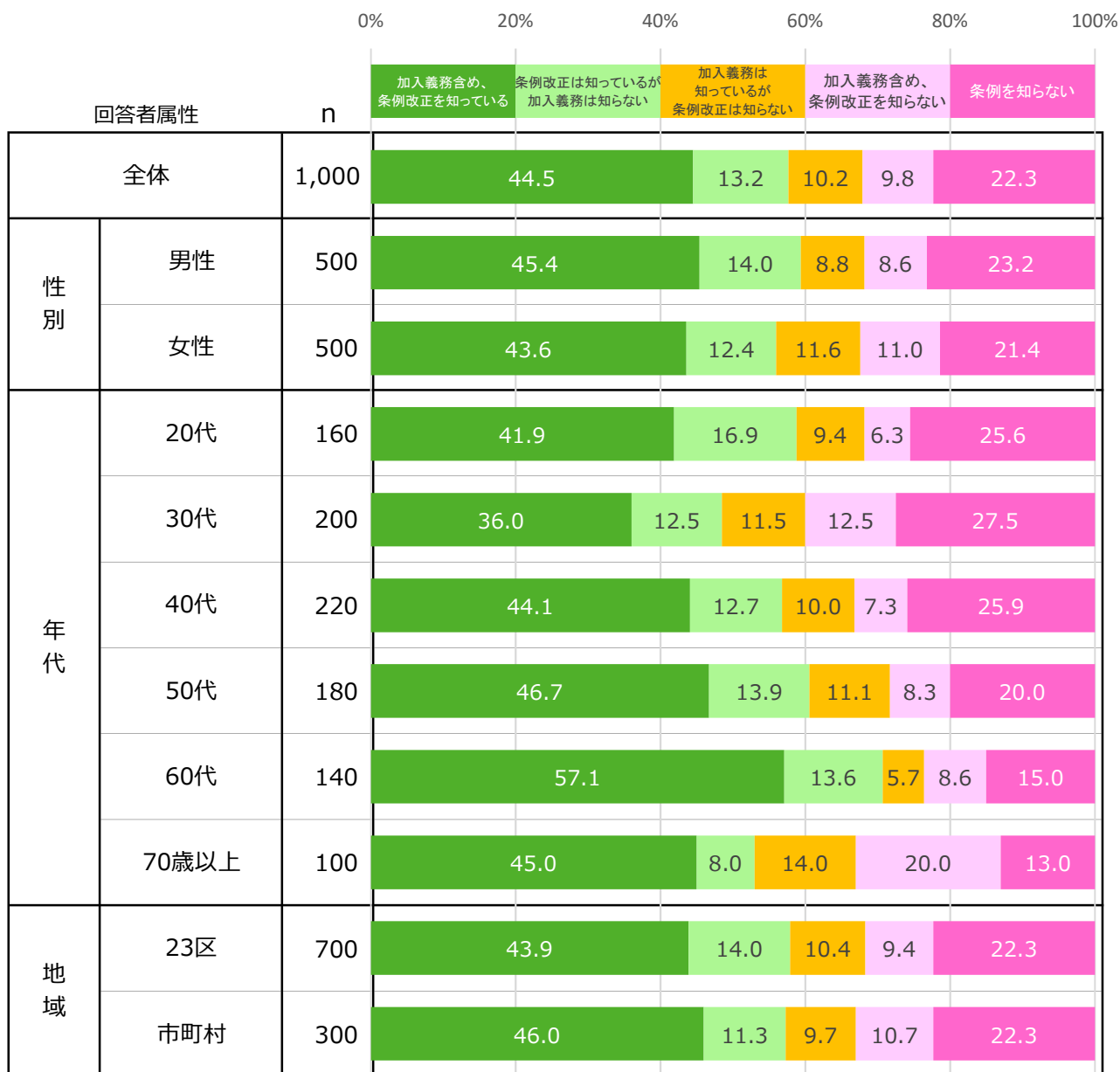
「とても必要だと思う」「必要だと思う」を合わせて年代別でみると、20代を除く全ての年代で7割を上回った。



自転車利用者に対する調査

7. あなたは「東京都自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」（以下「東京都自転車条例」）が改正され、令和2年4月から、自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等への加入が義務付けられることを知っていますか。

「東京都自転車条例」改正と保険等への加入義務の認知について、全体では「加入義務含め、条例改正を知っている」は44.5%であった。また、30代から60代までは年代が上がるにつれて、認知度が高くなっている。逆に「加入義務含め、条例改正を知らない」「条例を知らない」を合わせると、50代と60代を除く全ての年代で3割を上回った。特に30代は40.0%と最も高い。



自転車利用者に対する調査

8. あなたは東京都自転車条例が改正されることや、保険等への加入が義務付けられることをどこで知りましたか。（複数回答）

東京都自転車条例が改正や保険等への加入義務の認知媒体については、「テレビ」が34.8%と最も高く、次いで「広報東京都」19.7%、「東京都ホームページ」「区市町村の広報紙・回覧板など」がともに15.0%、「保険会社等のチラシ、案内」が14.4%と続く。

【全体】

(複数回答)

n=679	件数	%	10%	20%	30%	40%
広報東京都	134	19.7				
東京都ホームページ	102	15.0				
区市町村の広報紙・回覧板など	102	15.0				
区市町村ホームページ	43	6.3				
テレビ	236	34.8				
ラジオ	25	3.7				
新聞	76	11.2				
学校や会社等での案内	43	6.3				
警察署からの案内	14	2.1				
保険会社等のチラシ、案内	98	14.4				
自転車販売店等での案内	67	9.9				
その他	53	7.8				

※7.「保険等への加入が義務付けられることを含め、条例改正されたことを知っている」「条例が改正されたことは知っているが、保険等への加入が義務付けられることは知らない」「保険等への加入が義務付けられることは知っているが、条例が改正されたことは知らない」の回答者

▷ 「その他」の内容

(53件)

家族・友人・知人から	15
SNSやネットニュース等、インターネットで	14
コンビニのポスター	5
生協からのチラシ	3
電車の車内広告	2
免許更新時に	2
jcomの営業さんから	1
ニュース	1
ポストに入っていたチラシ	1
仕事が共済関係なので職場で	1
町会	1
覚えていない	7

自転車利用者に対する調査

8. あなたは東京都自転車条例が改正されることや、保険等への加入が義務付けられることをどこで知りましたか。（複数回答）

東京都自転車条例が改正や保険等への加入義務の認知媒体について、全体で最も高い「テレビ」では30代が44.2%と全体より9.4ポイント高く、60代が27.1%と全体より7.7ポイント低い。
「広報東京都」では60代が27.1%で全体より7.4ポイント高く、70歳以上が29.9%で全体より10.2ポイント高い。

【属性別】

	回答者属性	全体	性別		年代						地域	
			男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	23区	市町村
	n	679	341	338	109	120	147	129	107	67	478	201
広報東京都		19.7	23.5	16.0	16.5	18.3	14.3	18.6	27.1	29.9	19.7	19.9
東京都ホームページ		15.0	18.2	11.8	15.6	20.0	14.3	10.9	15.0	14.9	14.9	15.4
区市町村の広報紙・回覧板など		15.0	15.5	14.5	11.0	10.8	12.9	15.5	20.6	23.9	17.2	10.0
区市町村ホームページ		6.3	7.9	4.7	6.4	6.7	4.1	7.0	6.5	9.0	5.9	7.5
テレビ		34.8	36.4	33.1	36.7	44.2	32.0	35.7	27.1	31.3	33.7	37.3
ラジオ		3.7	2.1	5.3	3.7	2.5	2.0	3.9	5.6	6.0	3.6	4.0
新聞		11.2	15.0	7.4	6.4	5.0	7.5	10.9	20.6	23.9	11.1	11.4
学校や会社等での案内		6.3	5.9	6.8	7.3	7.5	9.5	8.5	0.9	-	5.9	7.5
警察署からの案内		2.1	1.8	2.4	5.5	0.8	2.7	1.6	0.9	-	1.9	2.5
保険会社等のチラシ、案内		14.4	11.7	17.2	5.5	11.7	17.0	17.1	17.8	17.9	15.1	12.9
自転車販売店等での案内		9.9	11.4	8.3	15.6	10.8	8.8	6.2	10.3	7.5	11.1	7.0
その他		7.8	5.3	10.4	10.1	9.2	8.8	7.8	3.7	6.0	7.9	7.5

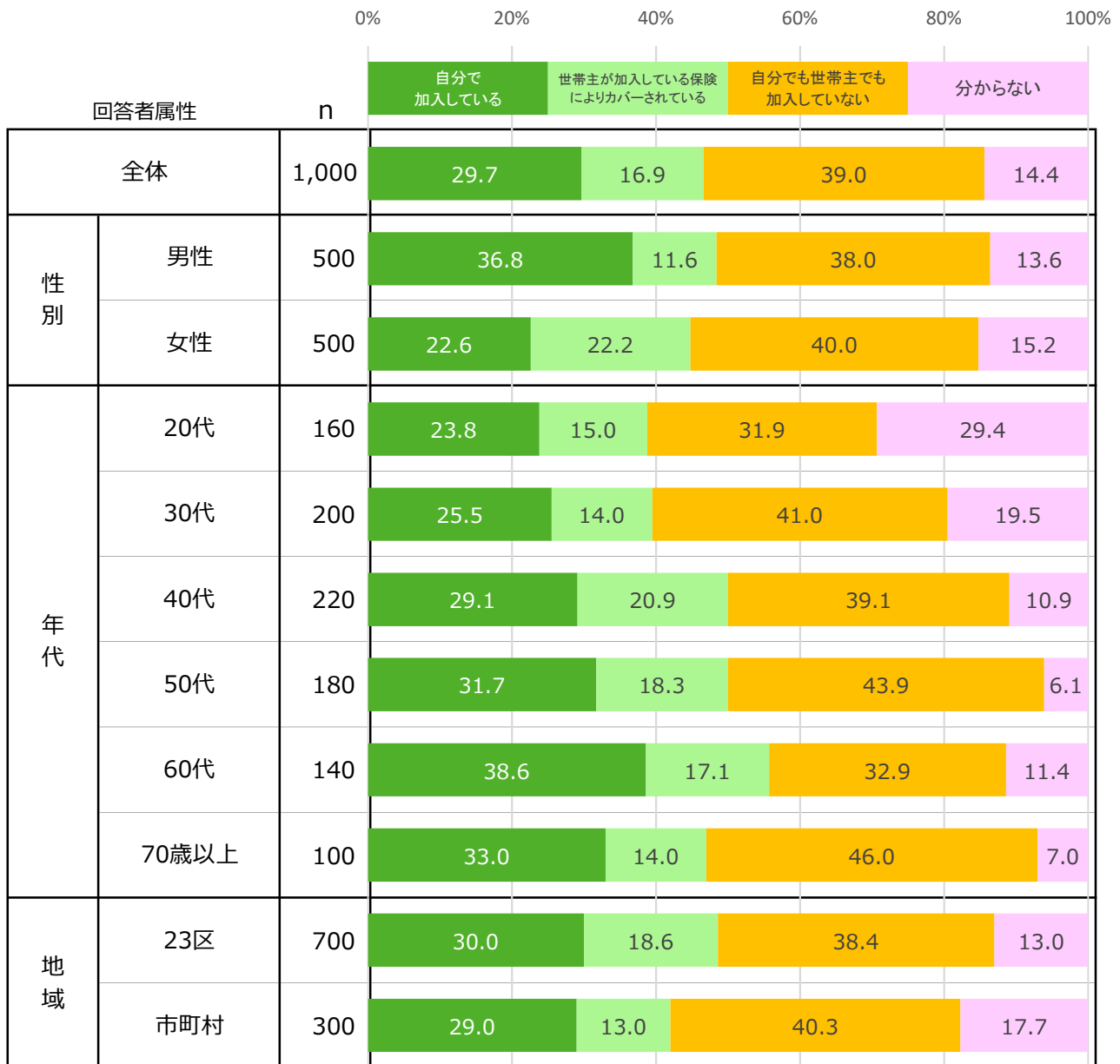
※7.「保険等への加入が義務付けられることを含め、条例改正されたことを知っている」「条例が改正されたことは知っているが、保険等への加入が義務付けられることは知らない」「保険等への加入が義務付けられることは知っているが、条例が改正されたことは知らない」の回答者

自転車利用者に対する調査

9. あなたは自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に加入していますか？

自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等への加入状況について、「自分で加入している」「世帯主が加入している保険によりカバーされている」を合わせると、全体では46.6%となった。また、40代(50.0%)、50代(50.0%)、60代(55.7%)で5割を上回った。

「自分でも世帯主でも加入していない」では30代、50代、70歳以上が4割を上回っている。

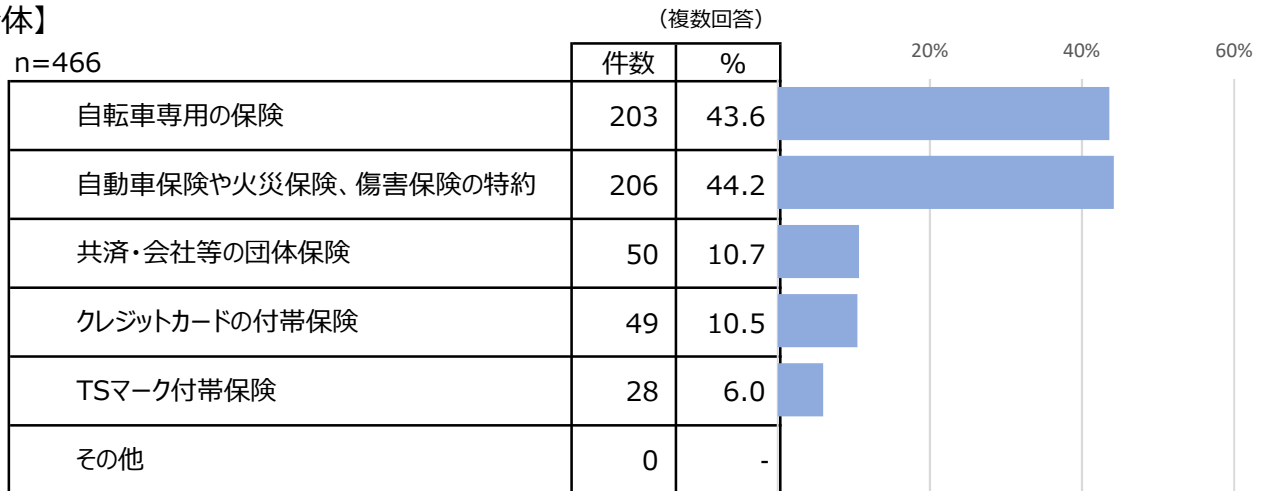


自転車利用者に対する調査

10. あなたが加入している自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等の種類を教えてください。 (複数回答)

自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等の種類については、「自転車保険や火災保険、傷害保険の特約」が最も高く44.2%、次いで「自転車専用の保険」が43.6%と続く。

【全体】



※ 9. 「自分で加入している」「世帯主が加入している保険によりカバーされている」の回答者

自転車利用者に対する調査

10. あなたが加入している自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等の種類を教えてください。 (複数回答)

自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等の種類について、全体で最も高い「自転車保険や火災保険、傷害保険の特約」では、50代が52.2%で全体より8.0ポイント高く、60代が53.8%で全体より9.6ポイント高い。「自転車専用の保険」では20代が59.7%で全体より16.1ポイント高く、30代が50.6%で全体より7.0ポイント高い。また、「クレジットカードの付帯保険」では年代が高くなるにつれ割合が低くなっている。

【属性別】

回答者属性	全体	性別		年代						地域	
		男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	23区	市町村
n	466	242	224	62	79	110	90	78	47	340	126
自転車専用の保険	43.6	49.2	37.5	59.7	50.6	41.8	32.2	42.3	38.3	44.1	42.1
自動車保険や火災保険、 傷害保険の特約	44.2	43.0	45.5	25.8	35.4	45.5	52.2	53.8	48.9	43.5	46.0
共済・会社等の団体保険	10.7	11.2	10.3	11.3	10.1	10.9	11.1	9.0	12.8	10.9	10.3
クレジットカードの付帯保険	10.5	10.3	10.7	17.7	16.5	10.9	7.8	5.1	4.3	9.1	14.3
TSマーク付帯保険	6.0	7.4	4.5	3.2	6.3	10.0	3.3	5.1	6.4	5.0	8.7
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

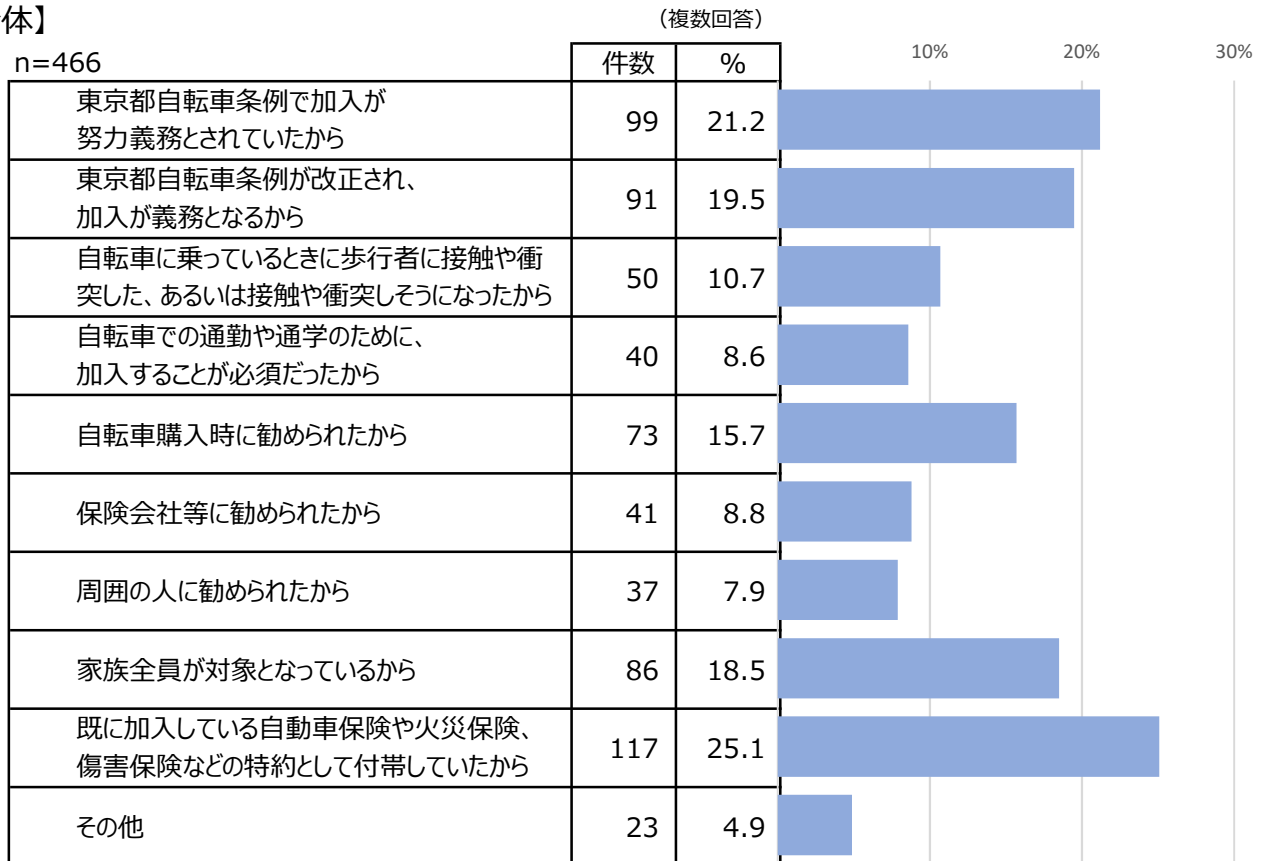
※ 9. 「自分で加入している」「世帯主が加入している保険によりカバーされている」の回答者

自転車利用者に対する調査

11. あなたが自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に加入したきっかけは何ですか。（複数回答）

自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に加入したきっかけについては、「既に参加している自動車保険や火災保険、傷害保険などの特約として付帯していたから」が25.1%で最も高く、次いで「東京都自転車条例で加入が努力義務とされていたから」が21.2%、「東京都自転車条例が改正され、加入が義務となるから」が19.5%と続く。

【全体】



※ 9. 「自分で加入している」「世帯主が加入している保険によりカバーされている」の回答者

▷ 「その他」の内容

(23件)

自転車事故の報道やニュースなどを見て必要性を感じたから	5
自転車事故での賠償裁判や賠償額を知って	4
加入が必要だと判断したため、加入することが身を守る方法だと思ったから	3
以前から加入している	2
過去の接触事故の経験から、衝突されそうになったから	2
自治会、町会	2
子どものため	2
住宅ローンについている。	1
クレジットカードを申し込んだら特約で付いてきたから、申し込んだ。	1
楽天でSPU+1になるから	1

自転車利用者に対する調査

11. あなたが自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に加入したきっかけは何ですか。(複数回答)

自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に加入したきっかけについて、全体で最も高い「既に参加している自動車保険や火災保険、傷害保険などの特約として付帯していたから」では、60代が32.1%で全体より7.0ポイント高く、70歳以上が46.8%で21.7ポイント高い。「東京都自転車条例で加入が努力義務とされていたから」では、20代が35.5%で全体より14.3ポイント高く、また23区(23.5%)と市町村(15.1%)では23区のほうが市町村より8.4ポイント高い。

【属性別】

回答者属性	全体	性別		年代						地域	
		男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	23区	市町村
n	466	242	224	62	79	110	90	78	47	340	126
東京都自転車条例で加入が努力義務とされていたから	21.2	26.4	15.6	35.5	24.1	17.3	22.2	14.1	17.0	23.5	15.1
東京都自転車条例が改正され、加入が義務となるから	19.5	24.4	14.3	25.8	25.3	16.4	14.4	17.9	21.3	20.3	17.5
自転車に乗っているときに歩行者に接触や衝突した、あるいは接触や衝突しそうになったから	10.7	12.8	8.5	9.7	7.6	12.7	8.9	10.3	17.0	8.5	16.7
自転車での通勤や通学のために、加入することが必須だったから	8.6	11.2	5.8	21.0	7.6	9.1	7.8	3.8	2.1	6.8	13.5
自転車購入時に勧められたから	15.7	12.8	18.8	21.0	20.3	13.6	6.7	17.9	19.1	15.3	16.7
保険会社等に勧められたから	8.8	9.1	8.5	3.2	7.6	9.1	11.1	10.3	10.6	7.4	12.7
周囲の人に勧められたから	7.9	6.6	9.4	17.7	6.3	9.1	6.7	5.1	2.1	8.8	5.6
家族全員が対象となっているから	18.5	12.0	25.4	17.7	17.7	29.1	17.8	9.0	12.8	16.2	24.6
既に参加している自動車保険や火災保険、傷害保険などの特約として付帯していたから	25.1	22.7	27.7	6.5	19.0	22.7	28.9	32.1	46.8	25.3	24.6
その他	4.9	4.5	5.4	1.6	3.8	3.6	3.3	9.0	10.6	5.0	4.8

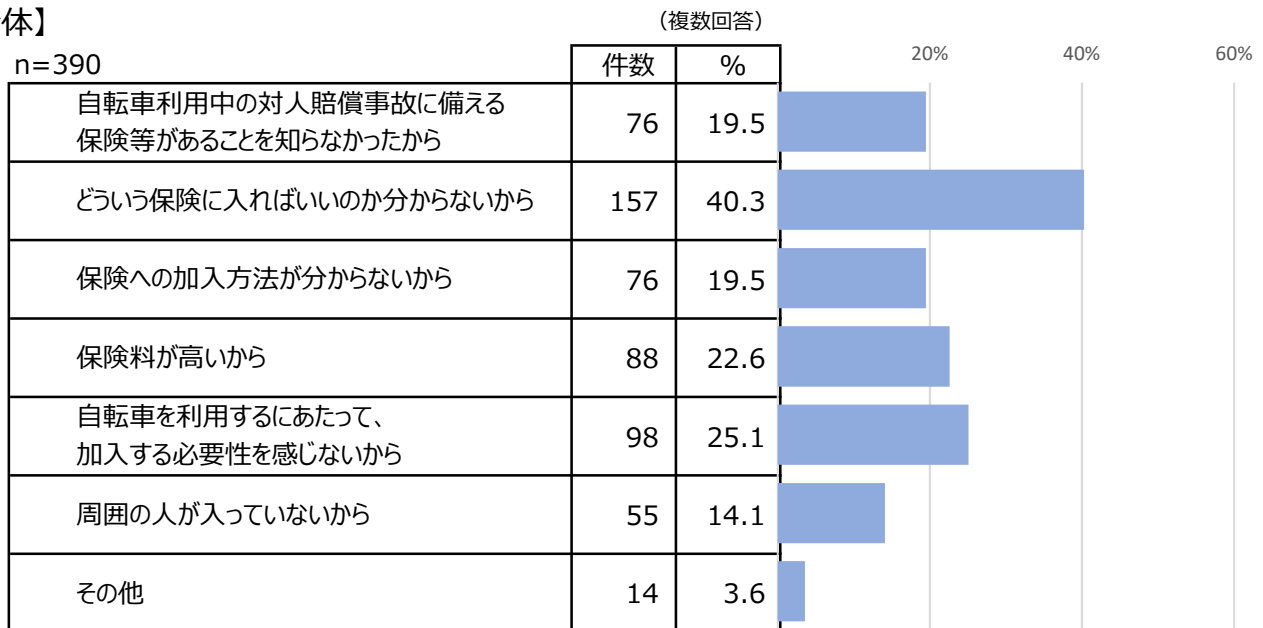
※ 9. 「自分で加入している」「世帯主が加入している保険によりカバーされている」の回答者

自転車利用者に対する調査

12. あなたが自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に加入していない理由を教えてください。 (複数回答)

自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に加入していない理由については、「どういう保険に入ればいいのか分からないから」が40.3%で最も高く、次いで「自転車を利用するにあたって、加入する必要性を感じないから」が25.1%、「保険料が高いから」が22.6%と続く。

【全体】



※9. 「自分でも世帯主でも加入していない」の回答者

▷ 「その他」の内容

(14件)

ほとんど乗らないから、以前ほど乗らなくなったから	3
全く知らなかったから、つい先日知ったから	2
総合保険や自動車保険でカバーしている	2
これから入る、入ろうと思っていた	2
週に1度くらいしか乗らないし、それもスーパーで重い物を買うときくらいなので、入らなくてもいいかなと思っている。	1
65歳以下の方が対象だと思うので、65まであと1年なので、何とかそろそろ運転して事故にあわないよう気を付ければ大丈夫だと思うから。	1
いらないと思ったから	1
まだ悩み中	1
父親が加入を検討しないから	1

自転車利用者に対する調査

12. あなたが自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に加入していない理由を教えてください。 (複数回答)

自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に加入していない理由について、最も高い「どういう保険に入ればいいのか分からないから」では、20代が49.0%で全体より8.7ポイント高く、70歳以上が45.7%で全体より5.4ポイント高い。「自転車を利用するにあたって、加入する必要性を感じないから」との回答は、は50代と70歳以上で全体より5ポイント以上高く、3割を上回っている。

【属性別】

回答者属性	全体	性別		年代						地域	
		男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	23区	市町村
n	390	190	200	51	82	86	79	46	46	269	121
自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等があることを知らなかったから	19.5	22.1	17.0	11.8	19.5	27.9	16.5	13.0	23.9	18.6	21.5
どういう保険に入ればいいのか分からないから	40.3	38.4	42.0	49.0	35.4	34.9	40.5	43.5	45.7	38.7	43.8
保険への加入方法が分からないから	19.5	22.6	16.5	19.6	18.3	18.6	16.5	26.1	21.7	23.0	11.6
保険料が高いから	22.6	27.4	18.0	19.6	25.6	29.1	27.8	13.0	8.7	24.2	19.0
自転車を利用するにあたって、加入する必要性を感じないから	25.1	25.8	24.5	27.5	23.2	17.4	31.6	21.7	32.6	23.0	29.8
周囲の人が入っていないから	14.1	10.5	17.5	21.6	11.0	17.4	13.9	8.7	10.9	11.5	19.8
その他	3.6	2.1	5.0	2.0	2.4	7.0	1.3	6.5	2.2	4.1	2.5

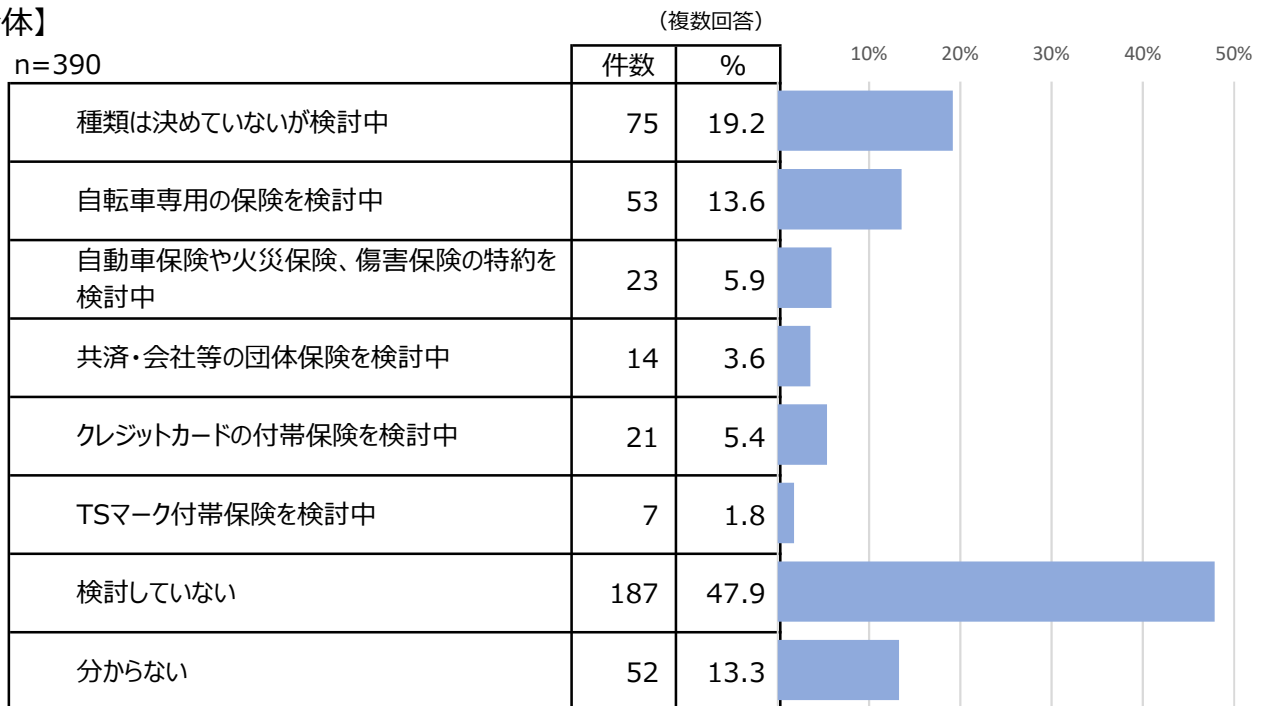
※ 9. 「自分でも世帯主でも加入していない」の回答者

自転車利用者に対する調査

13. あなたは自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等への加入を検討していますか。(複数回答)

自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等への加入の検討状況については、加入を検討している人の中では「種類は決めていないが検討中」が19.2%で最も高く、次いで「自転車専用の保険を検討中」が13.6%と続く。
また、自分でも世帯主でも保険等に加入していない利用者のうち、5割近くの47.9%が「検討していない」と回答。

【全体】



※9. 「自分でも世帯主でも加入していない」の回答者

自転車利用者に対する調査

13. あなたは自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等への加入を検討していますか。(複数回答)

自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等への加入の検討状況について、「種類は決めていないが検討中」では70歳以上が28.3%で全体より9.1ポイント高く、「自転車専用の保険を検討中」では60代が21.7%で全体より8.1ポイント高く、70歳以上が26.1%で全体より12.5ポイント高い。
また、「検討していない」では20代が60.8%で全体より12.9ポイント高く、50代が57.0%で全体より9.1ポイント高い。

【属性別】

回答者属性	全体	性別		年代						地域	
		男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	23区	市町村
n	390	190	200	51	82	86	79	46	46	269	121
種類は決めていないが検討中	19.2	21.1	17.5	13.7	17.1	22.1	17.7	17.4	28.3	18.6	20.7
自転車専用の保険を検討中	13.6	11.1	16.0	9.8	11.0	10.5	10.1	21.7	26.1	13.8	13.2
自動車保険や火災保険、 傷害保険の特約を検討中	5.9	8.9	3.0	3.9	1.2	7.0	7.6	4.3	13.0	5.6	6.6
共済・会社等の団体保険を 検討中	3.6	3.2	4.0	2.0	4.9	4.7	-	-	10.9	3.0	5.0
クレジットカードの付帯保険を 検討中	5.4	6.3	4.5	3.9	6.1	8.1	2.5	6.5	4.3	6.3	3.3
TSMARK付帯保険を検討中	1.8	2.1	1.5	2.0	4.9	1.2	-	2.2	-	2.2	0.8
検討していない	47.9	49.5	46.5	60.8	48.8	41.9	57.0	47.8	28.3	47.2	49.6
分からない	13.3	10.5	16.0	11.8	17.1	17.4	10.1	10.9	8.7	12.6	14.9

※ 9. 「自分でも世帯主でも加入していない」の回答者

自転車利用者に対する調査

14. あなたは自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等への加入率の向上に必要なことは何だと思えますか。(複数回答)

自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等への加入率の向上に必要なことについては、「手に入れやすい価格（安価）のものが増える」が54.7%で最も高く、次いで「自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等についての詳しい情報が提供される」が45.2%、「自転車版の自賠責保険（強制保険）制度をつくる」が28.8%と続く。

【全体】

(複数回答)

n=1,000	件数	%	
自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等についての詳しい情報が提供される	452	45.2	
手に入れやすい価格（安価）のものが増える	547	54.7	
行政が加入に係る経費の補助をする	259	25.9	
行政が加入しやすい団体保険をつくる	193	19.3	
自転車版の自賠責保険（強制保険）制度をつくる	288	28.8	
未加入者に罰則が科せられる	214	21.4	
その他	5	0.5	

▷ 「その他」の内容

(5件)

自転車購入時に保険加入を義務付ける。	4
CMを増やす。	1

自転車利用者に対する調査

14. あなたは自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等への加入率の向上に必要なことは何だと思えますか。(複数回答)

自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等への加入率の向上に必要なことについて、最も高い「手に入れやすい価格（安価）のものが増える」では40代が62.3%で全体より7.6ポイント高く、「自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等についての詳しい情報が提供される」では60代が55.0%で全体より9.8ポイント、70歳以上が54.0%で全体より8.8ポイント高い。「自転車版の自賠償保険（強制保険）制度をつくる」でも60代が34.3%で全体より5.5ポイント、70歳以上が46.0%で全体より17.2ポイント高い。

【属性別】

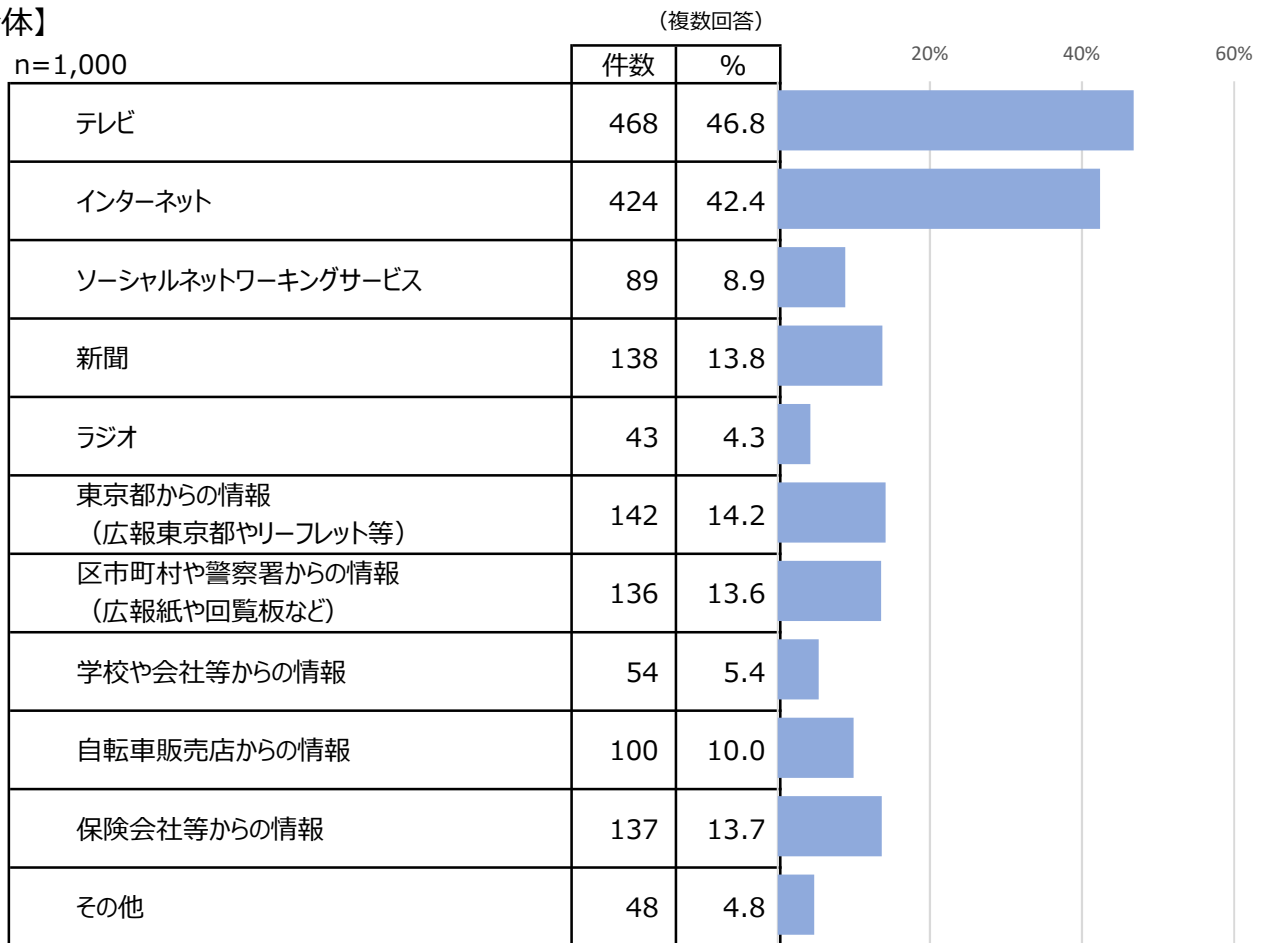
回答者属性	全体	性別		年代						地域	
		男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	23区	市町村
n	1,000	500	500	160	200	220	180	140	100	700	300
自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等についての詳しい情報が提供される	45.2	44.6	45.8	39.4	41.0	44.5	43.3	55.0	54.0	45.6	44.3
手に入れやすい価格（安価）のものが増える	54.7	53.4	56.0	55.0	55.5	62.3	52.8	47.9	49.0	54.1	56.0
行政が加入に係る経費の補助をする	25.9	28.8	23.0	28.1	25.0	25.0	26.1	24.3	28.0	25.7	26.3
行政が加入しやすい団体保険をつくる	19.3	20.4	18.2	16.9	15.0	17.3	22.2	21.4	28.0	20.0	17.7
自転車版の自賠償保険（強制保険）制度をつくる	28.8	29.8	27.8	16.3	28.5	29.1	26.1	34.3	46.0	29.3	27.7
未加入者に罰則が科せられる	21.4	19.6	23.2	18.1	22.0	23.2	26.1	20.7	14.0	21.9	20.3
その他	0.5	0.6	0.4	-	-	0.5	-	1.4	2.0	0.6	0.3

自転車利用者に対する調査

15. あなたは自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等の情報をどこから得ていますか。(複数回答)

自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等の情報源については、「テレビ」が46.8%で最も高く、次いで「インターネット」が42.4%、「東京都からの情報(広報東京都やリーフレット等)」が14.2%、「新聞」が13.8%と続く。

【全体】



▷ 「その他」の内容

(48件)

家族・友人・知人から	10
生協からのチラシ	3
自治会、町会	2
クレジットカード会社	1
コンビニ	1
分からない、覚えていない	3
得ていない	28

自転車利用者に対する調査

15. あなたは自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等の情報をどこから得ていますか。(複数回答)

自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等の情報源について、「テレビ」では20代が50.0%を超えている他に属性による差はみられないが、「インターネット」では30代が55.5%で全体より13.1ポイント高く、70歳以上が26.0%で全体より16.4ポイント低い。逆に「東京都からの情報(広報東京都やリーフレット等)」では70歳以上が22.0%で全体より7.8ポイント高く、「新聞」では60代が27.1%で全体より13.3ポイント、70歳以上が32.0%で全体より18.2ポイント高い。

【属性別】

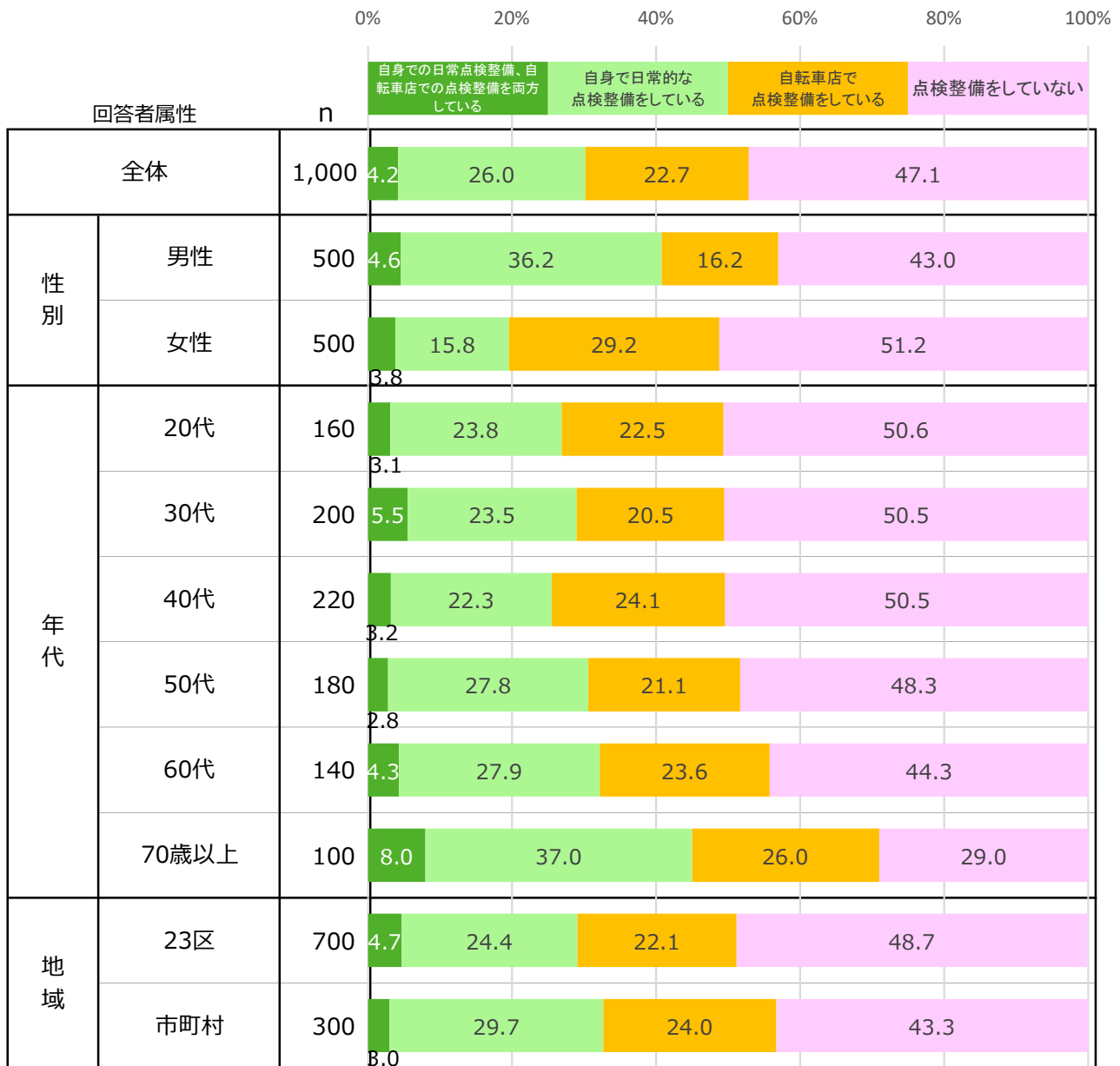
	回答者属性	全体	性別		年代						地域	
			男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	23区	市町村
	n	1,000	500	500	160	200	220	180	140	100	700	300
テレビ		46.8	47.4	46.2	50.6	45.5	47.7	47.2	45.7	42.0	45.9	49.0
インターネット		42.4	49.0	35.8	43.8	55.5	45.9	41.1	30.0	26.0	44.1	38.3
ソーシャルネットワーキングサービス		8.9	9.0	8.8	16.9	10.0	9.5	5.6	5.7	3.0	8.9	9.0
新聞		13.8	15.2	12.4	6.3	5.0	9.1	15.6	27.1	32.0	13.4	14.7
ラジオ		4.3	4.6	4.0	5.0	2.5	2.7	5.0	6.4	6.0	3.3	6.7
東京都からの情報 (広報東京都やリーフレット等)		14.2	14.0	14.4	14.4	12.5	12.3	12.8	15.7	22.0	13.9	15.0
区市町村や警察署からの情報 (広報紙や回覧板など)		13.6	10.8	16.4	12.5	9.0	10.9	14.4	17.9	23.0	12.7	15.7
学校や会社等からの情報		5.4	4.4	6.4	9.4	6.5	5.9	5.0	2.1	1.0	4.6	7.3
自転車販売店からの情報		10.0	9.6	10.4	10.6	9.5	11.4	6.7	9.3	14.0	10.9	8.0
保険会社等からの情報		13.7	11.0	16.4	10.0	8.0	12.7	16.7	19.3	20.0	14.4	12.0
その他		4.8	3.4	6.2	3.1	4.5	5.5	5.0	4.3	7.0	4.3	6.0

自転車利用者に対する調査

16. あなたは自転車の点検整備をしていますか。

自転車の点検整備について、「自身での日常点検整備、自転車店での点検整備を両方している」「自身で日常的な点検整備をしている」「自転車店で点検整備をしている」を合わせると、年代が上がるにつれて点検整備をしている割合が高くなっている。

また、女性(51.2%)、20代から40代までの5割以上が「点検整備をしていない」と回答。

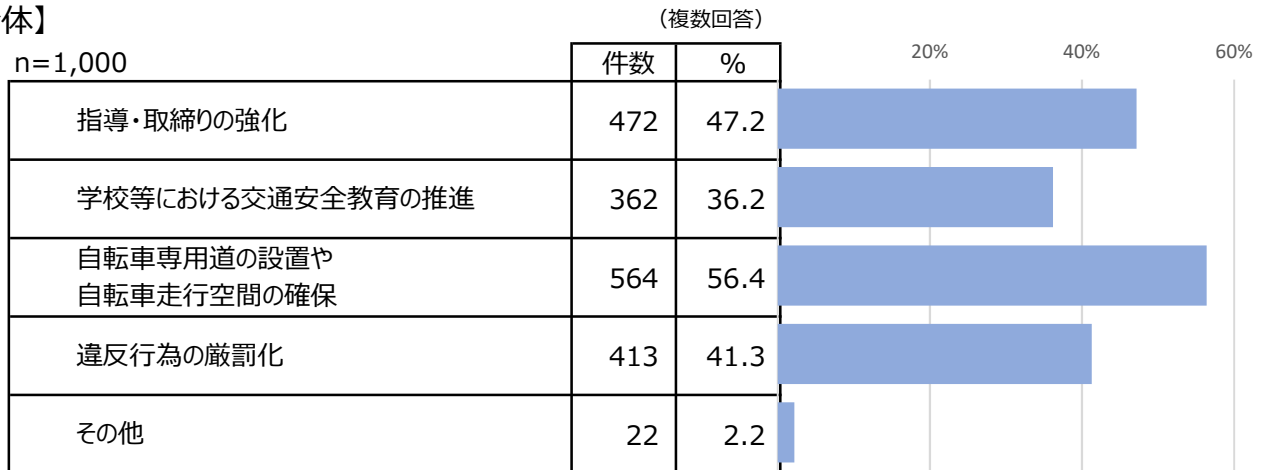


自転車利用者に対する調査

17. あなたは自転車事故を減らすために何が必要だと思いますか。（複数回答）

自転車事故を減らすために何が必要だと思うかについては、「自転車専用道の設置や自転車走行空間の確保」が56.4%と最も高く、次いで「指導・取締りの強化」が47.2%、「違反行為の厳罰化」が41.3%、「学校等における交通安全教育の推進」が36.2%と続く。

【全体】



▷ 「その他」の内容

(22件)

個々の交通安全意識、一人ひとりのマナーの向上	4
歩きスマホの厳罰化	3
自転車免許制度	3
自転車利用者への交通法規の周知	3
スマホのながら運転の取り締まり	2
車が自転車用通路に長時間止まっているのでその取締り。駅前1日無料駐輪場の増加で通行し易い道路をつくる。	1
歩道は狭い、車道は怖い。それが解消されない限り意味がない。車道を走れと言われても、路駐だらけの都内はどうしろと言うの？	1
自動車やバイクなどのあおり運転の取締り強化	1
テレビ等で自転車事故の怖さと保険などの情報を常にスポットで流す。	1
一番危ないママチャリの交通規則違反を取り締まる。（一時停止しない、人も車も来ない憶測で十字路を突っ切る、子供を二人乗せてスマホをしながら走行する）	1
自転車の禁止	1

自転車利用者に対する調査

17. あなたは自転車事故を減らすために何が必要だと思いますか。（複数回答）

自転車事故を減らすために何が必要だと思うかについて、「自転車専用道の設置や自転車走行空間の確保」では、20代は45.6%で全体より10.8ポイント低いが、60代が62.1%で全体より5.7ポイント、70歳以上が68.0%で全体より11.6ポイント高い。「指導・取締りの強化」では、30代が55.0%で全体より7.8ポイント高い。

【属性別】

回答者属性	全体	性別		年代						地域	
		男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	23区	市町村
n	1,000	500	500	160	200	220	180	140	100	700	300
指導・取締りの強化	47.2	50.0	44.4	41.3	55.0	47.3	48.3	46.4	40.0	46.3	49.3
学校等における交通安全教育の推進	36.2	33.6	38.8	33.8	37.5	33.2	36.7	34.3	46.0	35.7	37.3
自転車専用道の設置や自転車走行空間の確保	56.4	55.6	57.2	45.6	54.0	59.1	54.4	62.1	68.0	54.7	60.3
違反行為の厳罰化	41.3	38.2	44.4	33.8	41.5	45.5	38.9	42.9	46.0	42.0	39.7
その他	2.2	1.4	3.0	-	1.5	2.3	2.2	2.9	6.0	2.4	1.7

自転車利用者に対する調査

18. 都内の自転車の安全で適正な利用について、あなたの意見を自由にお書きください。（自由記述）

※代表的なコメントを抜粋

自転車利用者の乗り方やマナーについて 174件

性別	年代	居住地域	内容
男性	40代	新宿区	右側通行する人が多すぎると思います。ほとんどの人が自転車は軽車両で原則左側通行という事を知らないようです。
女性	40代	小平市	マナーとルールがごっちゃになっていると思う。ルールだからみんな守ってほしい。
女性	60代	杉並区	スピードをよく出してる人がいます。安全に運転してほしいと思います。時間の余裕を見て、出かけてほしいです。
男性	60代	練馬区	道路交通法で自転車が軽車両とされているが、その意識がない人があまりにも多い。歩道を我が物顔で走行し、信号は無視するし、歩行者に対してベルを鳴らしてよけさせるなど、マナーが全くない状況が多すぎる。
女性	60代	八王子市	ケータイ片手にイヤホンをして、あるいは傘をさして自転車に乗るのはとても危ないと思う。無灯火もよく見かけるが本当に危ないし、怖いと思う。
女性	70歳以上	北区	自転車に乗るときは、両手でしっかりとハンドルを握ること。スマホを持ったり、雨の日に片手で傘を持ったりして自転車を漕いでいる人を見かけるが、これは絶対にやめるべきと思う。

規制・指導・啓発等について 151件

性別	年代	居住地域	内容
男性	20代	三鷹市	免許制度までは行かなくても、ある程度交通ルールを守る人を増やす、守れるような人に駐輪代優遇などとする。自転車も車を運転するようにしっかり規則や緊張感を持って運転して欲しい。
女性	40代	足立区	この歳になると、自転車についての知識を得る機会はゼロに等しくなる。自動車の免許更新の際に強制的に講習を受けさせる等、ある程度必要だと思う。
男性	40代	江戸川区	自転車が歩道や道路を走る際に守らなければならない交通ルールを知らない、または無視している大人が多過ぎる。子供は学校教育での指導で良いが、大人は積極的に取り締まって罰則を与える方が効果的だと思います。歩行者へも交通ルールを周知すべきだと思います。
女性	40代	町田市	車の免許を持っている人は、自転車の走行時に道のどちら側を走行するかを知っている人が多いのですが、免許を持っていない人や幼児・小中学生などはそういった情報を全く持っていないようで、一方的に自動車側が悪いと言われる事があります。しっかりと子供に対しては学校で交通ルールを教え、バイクや車より早く接する乗り物なので、子供たちや地域の人々を守るために、交通ルールを順守することの大切さを地域としても広げた方がいい。
女性	50代	大田区	歩道などの自転車専用でないところを危険な運転をする自転車の走行についての罰則をもっと厳しくしてほしい。自転車での走行中のスマホやイヤホンの使用を禁止する。
女性	60代	国立市	ながら運転やスピードの出すぎはとても怖いので厳しくする必要がある。特に電動自転車は怖い。
男性	70歳以上	江東区	自転車が「車両等」であることを知らないで、道路の右側を走行したり、交差点を直角ではなく対角線で曲がったりする自転車がある。交通規則の周知徹底が必要と思う。

自転車利用者に対する調査

18. 都内の自転車の安全で適正な利用について、あなたの意見を自由にお書きください。（自由記述）

※代表的なコメントを抜粋

走行環境等の整備について 149件

性別	年代	居住地域	内容
男性	30代	足立区	事故が起きるのは自転車だけの問題ではないと思う。車道を走りたくても路上駐車をしている車が多く歩道を走らざるを得ない。歩道を走ると歩行者との接触の可能性が高まり、車道を走ると路上駐車により車との接触の可能性が高まる。商店街などの歩道の路上看板にも同じことが言える。まずは路上看板、路上駐車等の障害物となり得るものを禁止する条例、刑事罰を設けてほしい。それらをせずに自転車の保険加入義務化だけでは根本の解決にならない。
男性	30代	立川市	安全性を高めるために、自転車道や駐輪場などの設備を充実させる必要があると考える。また、マナーに関する講習やキャンペーンを各種のメディアを介して広く知らしめるべきである。
女性	30代	町田市	歩道を走行して、ベルで歩行者をどかす人が多い。歩行者としては腹立たしい。ただ、自転車専用の通行帯に路駐の車がいたり、車道が狭かったりすると、非常に危険を感じるため、歩道を走らざるを得ない場合も多い。たまに歩行者用と自転車用に区切っている歩道を見かけるが、ああいう歩道が増えると嬉しい。
女性	50代	台東区	駐車違反を徹底的に取り締まる。自転車専用レーンを走っていても路駐している車が邪魔で結局、歩道を走ったり車と同じところを走らざるを得ないことが実に多い。

自転車損害賠償保険等について 25件

性別	年代	居住地域	内容
女性	50代	台東区	保険に入らないと自転車が購入できないようにすればいいと思う。
男性	60代	北区	歩行者にとっても自転車にとっても、安全性や保険の適用は大切かつ重要と感じます。
男性	70歳以上	世田谷区	乗る人が万が一自分が被害者になった場合を考えれば、皆保険の加入を進めると思う。

その他 17件

性別	年代	居住地域	内容
男性	60代	練馬区	自動点灯ライトも普及し始めてきたのは良いこと。安全には自転車用のウインカーも必要かと思う。ウインカーを使うことで安全意識が高まるかと。
男性	70歳以上	八王子市	自転車の利用で、加害者になることもあるし被害者になることもあることを、あらためて認識しました。